

DIALOG(R) File 351:Derwent WPI  
(c) 2002 Thomson Derwent. All rts. reserv.

008684170

WPI Acc No: 1991-188189/\*199126\*

XRPX Acc No: N91-144074

Picture reader e.g. for colour or facsimile - has lens having refraction power in sub-scanning direction, with slit for limiting flux in sub-scanning direction NoAbstract NoDwg

Patent Assignee: CANON KK (CANO )

Number of Countries: 001 Number of Patents: 001

Patent Family:

Patent No	Kind	Date	Applicat No	Kind	Date	Week
JP 3113961	A	19910515	JP 89251278	A	19890927	199126 B

Priority Applications (No Type Date): JP 89251278 A 19890927

Title Terms: PICTURE; READ; COLOUR; FACSIMILE; LENS; REFRACT; POWER; SUB; SCAN; DIRECTION; SLIT; LIMIT; FLUX; SUB; SCAN; DIRECTION; NOABSTRACT

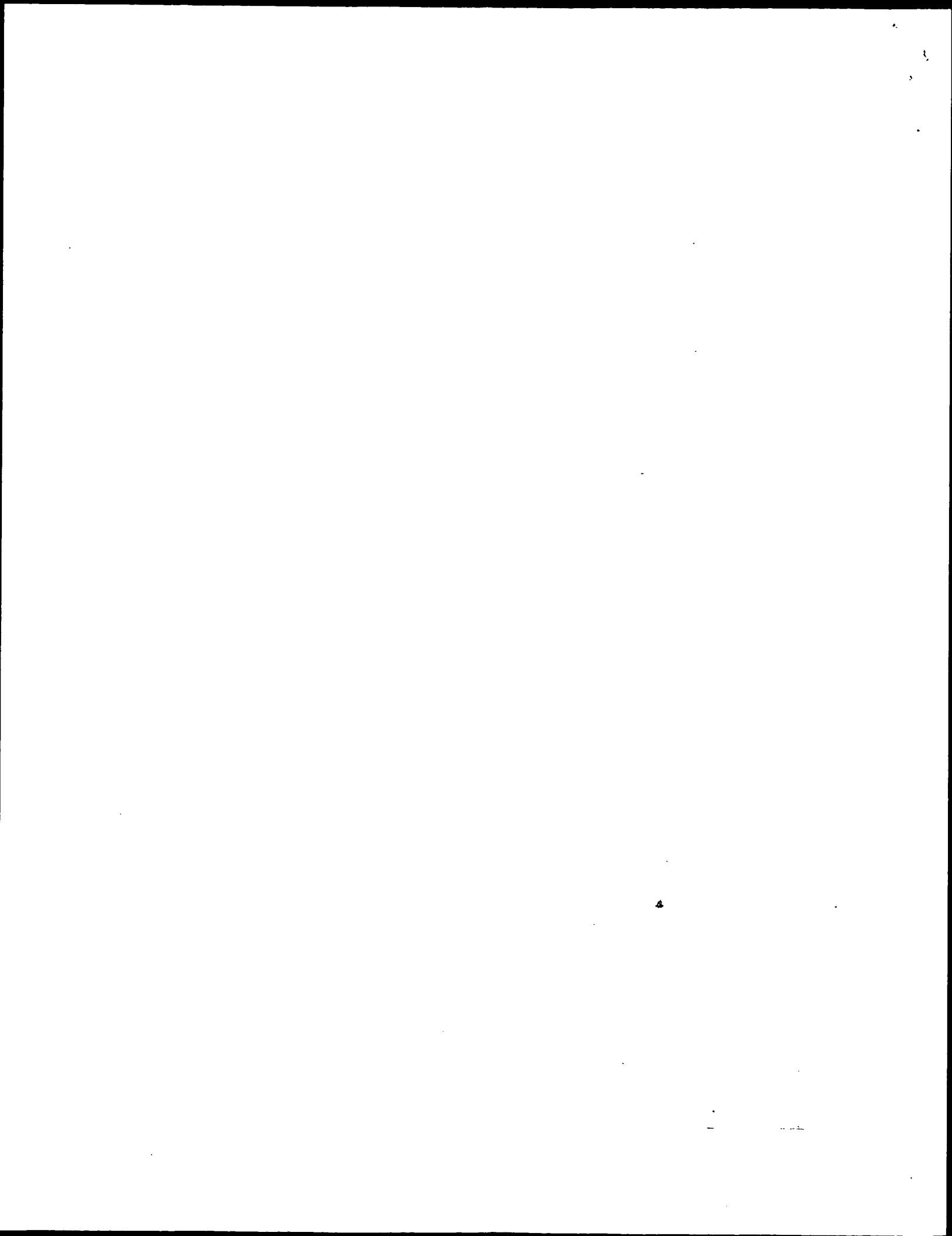
Index Terms/Additional Words: CCD

Derwent Class: S06; W02

International Patent Class (Additional): H04N-001/04

File Segment: EPI

Manual Codes (EPI/S-X): S06-A03; S06-A11; W02-J01; W02-J04



⑥日本国特許庁 (JP) ⑦特許出願公開  
 ⑧公開特許公報 (A) 平3-113961

⑨Int.Cl.<sup>5</sup>

H 04 N 1/04  
 1/028  
 1/04  
 1/46

識別記号

102

庁内整理番号

D 7037-5C  
 C 9070-5C  
 7037-5C  
 7734-5C

⑩公開 平成3年(1991)5月15日

審査請求 未請求 請求項の数 4 (全5頁)

⑪発明の名称 画像読取装置

⑫特 願 平1-251278

⑬出 願 平1(1989)9月27日

⑭発明者 福澤 延正 東京都大田区下丸子3丁目30番2号 キヤノン株式会社内

⑮発明者 竹村 幸男 東京都大田区下丸子3丁目30番2号 キヤノン株式会社内

⑯出願人 キヤノン株式会社 東京都大田区下丸子3丁目30番2号

⑰代理人 弁理士 高梨 幸雄

### 明細書

#### 1. 発明の名称

画像読取装置

#### 2. 特許請求の範囲

(1) 照明系により照明された画像を投影系を介して複数のラインセンサーを有する画像読取手段面上に投影し該画像読取手段により該画像を少なくとも2色以上で読取るようにした画像読取装置において、該撮影系の後方に該ラインセンサーの素子の並び方向と直交する副走査方向に屈折力を有するアナモフィックレンズを配置すると共に該アナモフィックレンズの後方に副走査方向の光束を制限する開口部を有するスリットを配置したことを特徴とする画像読取装置。

(2) 前記スリットは前記アナモフィックレンズの集光点近傍に配置されており、前記画像読取手段は該スリットを通過した光束を検出していることを特徴とする請求項1記載の画像読取装置。

(3) 前記アナモフィックレンズをシリンドリカルレンズ又はシリンドリカルレンズより構成したこと

を特徴とする請求項2記載の画像読取装置。

(4) 前記アナモフィックレンズをシリンドリカルレンズより構成し、前記スリットを該シリンドリカルレンズの集光点近傍に開口部を有し、他の一部分を覆う形状より構成したことを特徴とする請求項1記載の画像読取装置。

#### 3. 発明の詳細な説明

##### (産業上の利用分野)

本発明は画像読取装置に関し、特に複数のラインセンサーを利用することにより原稿面上のカラー画像情報を特別なラインメモリを必要とせず高精度に読み取るようにしたカラー複写機、カラースキャナー、カラーファクシミリ等に好適な画像読取装置に関するものである。

##### (従来の技術)

従来より原稿面上のカラー画像情報を投影系を介してCCD等のラインセンサー面上に結像させて、このときのラインセンサーからの出力信号を利用してカラー画像情報を読み取るようにした画像読取装置が種々と提案されている。

第4図は従来の画像読み取り装置の概略図である。図中1aは光源、1bは凹面鏡であり光源1aからの光を効率良く原稿4側に集光している。3は原稿支持用の原稿台ガラス、6は投影系(投影レンズ)であり原稿4をCCD等のラインセンサーにより成る画像読み取り手段8面上に投影している。

画像読み取り手段8は基板上に3本のCCD81, 82, 83を配置した3ラインモノリックCCDより成っている。3本のCCD81, 82, 83の受光面上には例えば青色、緑色、赤色の3原色の分光特性B, G, Rの色フィルターが各々蒸着等により設けられている。これにより各々の分光特性B, G, Rの色光で画像読み取りを行っている。

同図に示す装置において原稿面上の画像をCCDにより読み取る場合、CCD上の3ラインの各々の間隔と投影レンズ6の結像倍率の逆数の積によって得られる寸法分だけ原稿面上で画像の読み取り位置が色別にずれてくる。例えばCCD81, 82, 83の各間隔Xが第5図に示すよう

に向て移動させて各々の分光特性を有するCCD81, 82, 83により原稿4面上のカラー画像を3色光により読み取っている。

#### (発明が解決しようとする問題点)

第4図、第5図に示す従来の画像読み取り装置では3つのラインセンサー81, 82, 83の間隔Xは3つのラインセンサーをモノリックに作製するうえで画素サイズの約10~20倍は必要となっている。この為、原稿4上のR, G, B各色の読み取り位置が第5図に示すように大きくズレてきて原稿4面上の読み取り間隔Mが20~40画素分となってくる。この為、原稿4面の同じ位置の信号情報を得る為には約20~40ライン分の大容量のメモリを用意しなければならないという問題点があった。

本発明は投影系の後方にアナモフィックレンズとスリットを適切に配置することにより簡易な構成により原稿面上の画像読み取り領域を狭くして、原稿面上の一点からの光束を3つのCCDラインセンサーに略同時に入射させるように構成するこ

0.2mmで投影レンズ6の投影倍率が1/10のとき第5図の原稿4面上の画像読み取り位置のずれ量Mは

$$M = 0.2 \times 10 = 2 \text{ (mm)}$$

となる。ここで原稿4を読み取るとき同図において上方から矢印Y方向に下方に移動させたとき、原稿4の先端画像はK点にさしかかったときに投影レンズ6により画像読み取り手段8上のCCD83上に結像する。CCD83で読み取る際の分光特性BとなっていればK点の原稿に基づく光束より青色光の画像情報の検出が行なわれる。

次に原稿4を矢印Y方向に2mm移動させ、J点にさしかかったときは前述のK点は投影レンズ6によりCCD82上に結像する。このCCD82で読み取る際の分光特性Gとなってているときは緑色光の画像情報の検出が行なわれる。

更に原稿4を2mm移動させI点に位置したときは前述と同様にしてCCD81で分光特性Rに基づいた赤色光の画像情報の検出が行なわれる。このようにして原稿4を取稿台ガラス3上をY方

とにより特別なメモリを用いずに高精度なカラー画像の読み取りが出来る画像読み取り装置の提供を目的とする。

#### (問題点を解決するための手段)

本発明の画像読み取り装置は、照明系により照明された画像を投影系を介して複数のラインセンサーを有する画像読み取り手段面上に投影し該画像読み取り手段により該画像を少なくとも2色以上で読み取るようした画像読み取り装置において、該撮影系の後方に該ラインセンサーの素子の並び方向と直交する副走査方向に屈折力を有するアナモフィックレンズを配置すると共に該アナモフィックレンズの後方に副走査方向の光束を制限する開口部を有するスリットを配置したことを特徴としている。

特に本発明では、前記アナモフィックレンズをシリンドーレンズ又はシリンドリカルレンズより構成し、前記スリットは前記アナモフィックレンズの集光点近傍に配置されており、前記画像読み取り手段は該スリットを通過した光束を検出していることを特徴としている。

## (実施例)

第1図(A)は本発明の一実施例の要部構造図、第1図(B)は同図(A)の光学系を展開したときの主要部分の概略図である。

本実施例では第4図の従来の画像読み取り装置に比べて投影系6の後方に後述する構成のアナモフィックレンズ11とスリット12を配置してカラー画像の読み取りを行っていることを特徴としている。

次に本実施例の各構成要素について説明する。4は原稿でありカラー画像が形成されており、原稿台ガラス3面上に載置されている。1aは螢光灯やハロゲンランプ等の光源である。1bは凹面鏡であり光源1aから原稿台ガラス3と逆方向に射出した光束を集光し原稿4に導光している。6は投影系であり原稿4からの光束をミラー7a～7cを介して集光し、アナモフィックレンズ11に導光している。アナモフィックレンズ11は紙面内である副走査方向にのみ屈折力を有するシンダーレンズやシリンドリカルレンズ等から成っ

スリット12の開口部12aの副走査方向の幅はラインセンサーの各画素と同程度（例えば $10\mu m$ 程度）としている。これにより原稿4の副走査方向の対象外の原稿からの光束を遮光すると共に画像読み取りの際の副走査方向の解像力を従来と同程度にしている。

そしてスリット12の開口部12aを通過した光束を各々3つのラインセンサー81、82、83に同時に入射させている。そして原稿4を矢印Y方向に一定速度で移動させることにより所定の分光特性に設定された各色光に基づいた3つのラインセンサー81、82、83により原稿4面上のカラー画像を順次読み取っている。

本実施例ではスリット4の開口部の幅より副走査方向の読み取り解像力が決ってくる。この為3つのラインセンサーの画素の副走査方向の大きさをスリット4の開口部の幅より大きくすることができる。例えばスリット4の開口部の幅を $10\mu m$ としたときラインセンサーの副走査方向の画素サイズを $20\mu m$ としても良く、これによればライ

ている。12はスリットであり主走査方向に長い開口部を有し、アナモフィックレンズ11による光束の集光点、即ち原稿4と共に近傍に配置されている。

8は画像読み取り手段であり、CCD等から成る3つのラインセンサー81、82、83から成っている。3のラインセンサー81、82、83は第2図に示すように基板21にモノリシックに構成されており、主走査方向22（第1図(B)では紙面と垂直方向）に一次元的に複数の受光素子を配列した構成より成っている。

又3つのラインセンサーの前方には第2図に示すように各々カラー画像を読み取る為の所空の色光、例えば赤色(R)、緑色(G)、青色(B)を通過させる色フィルターR、G、Bが配置されている。

本実施例では光源1aで照明された原稿台ガラス3面上の原稿4の主走査方向の一領域からの光束を投影系6とアナモフィックレンズ11とによりスリット12の開口部12aに集光している。

センサーへの入射光量を増加させることができ、画像読み取り精度を向上させることができる。

本実施例では第2図に示すように3つのラインセンサー81、82、83のうち中央のラインセンサー82で緑色光(G)のカラー画像を読み取るようにしているが、各ラインセンサーの順序には制限はない。例えば一般にスリット4からの光束は中央部分の光量が一番強くなるので中央部のラインセンサーで感度が一番低い青色光(B)のカラー画像を読み取るようにしてもよい。

第3図(A)は本発明に係るアナモフィックレンズとスリット近傍の他の一実施例の概略図である。同図ではアナモフィックレンズとしてシンダーレンズ(円柱)レンズ31を用いその円柱長手方向と平行に開口部を有するスリット41をスリット41の遮光部がシンダーレンズ31の不使用領域を覆うようにして接着、又は蒸着している。

尚、本実施例においてはこれらの要素と画像読み取り手段8を第3図(B)に示すように1つの媒体51内に収納して一体構成しても良い。これによ

特開平3-113961(4)

ればゴミ等の付着を防止することができ、又各要素の組立が容易となり、更にこれらの各要素を全般的に小型に構成することができる。

(発明の効果)

本発明によれば前述の如くアナモフィックレンズとスリットを利用して画像読取手段としての3つのラインセンサーで各々の分光特性で原稿4面上の1ライン幅に相当する狭い領域を同時に読取ることにより、各色光に基づく画像の副走査方向の位置合わせの為ラインメモリ手段を必要とせず、又光源1aにより原稿面上の狭帯域を照明すれば良い為、高い照明効率が得られ、更にスリットの開口部の幅を調整することにより画像読み取りの際の解像力を向上させることができるといった特徴を有する画像読み取り装置を達成することができる。

4. 図面の簡単な説明

第1図(A)は本発明の一実施例の要部概略図、第1図(B)は第1図(A)の光学系を展開したときの概略図、第2図は第1図(A)の一部

分の説明図、第3図(A)、(B)は第1図(A)の一部分の他の実施例の説明図、第4、第5図は従来の画像読み取り装置の概略図である。

図中、1aは光源、1bは凹面鏡、3は原稿台ガラス、4は原稿、6は投影系7a～7cはミラー、8は画像読み取り手段、81、82、83は各々ラインセンサー、11はアナモフィックレンズ、12はスリット、31はシリンドーレンズ、41はスリット、51は鏡体である。

特許出願人

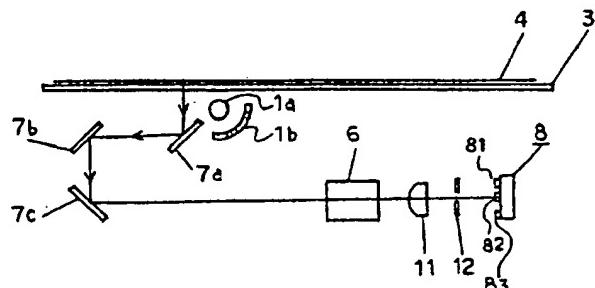
キヤノン株式会社

代理人

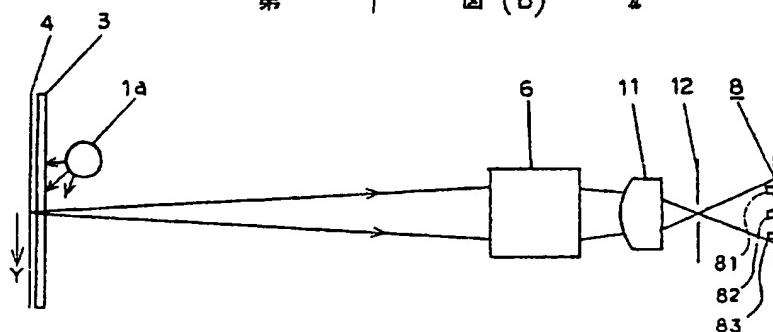
高梨幸雄



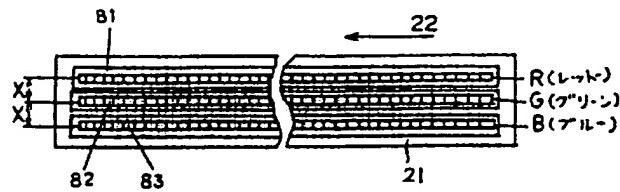
第 1 図 (A)



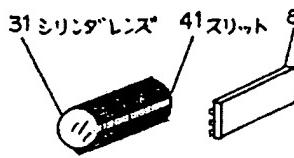
第 1 図 (B)



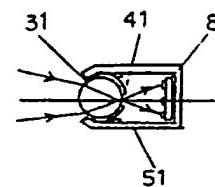
第 2 図



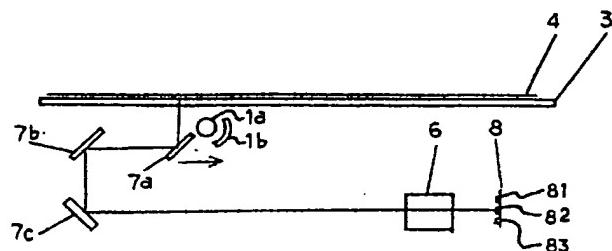
第 3 図(A)



第 3 図(B)



第 4 図



第 5 図

